

平成29年度

教育委員会の事務の点検・評価結果報告書

平成30年3月

三島村教育委員会

I 平成29年度教育委員会の事務の点検及び評価の概要について

1 根拠

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(地教行法)

「(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」

2 目的

教育行政の運営の中において、施策や事業の、

「Plan(計画)」→「Do(実行)」→「Check(点検・評価)」→「Action(改善)」のマネジメントサイクルを確立するとともに、一連の情報を分かりやすい形で村民に公表することにより、次の事項の実現を図る。

- (1) 行政の説明責任の徹底
- (2) 効率的で質の高い行政の実現
- (3) 成果重視の行政の実現

3 対象施策・事業

6施策・11事業

本村の教育行政推進上の重要課題として、1学校教育の充実、2社会教育の充実、3生涯学習の充実、4スポーツ活動の充実、5文化財の保護・活用、6その他の6つが挙げられる。これらの課題に係る主な施策・事業を対象とした。

4 点検・評価の日程

| | |
|------------|--|
| 平成30年 2月中旬 | ・評価の実施 |
| 3月上旬 | ・評価委員への意見の照会 |
| 3月中旬 | ・教育委員への説明 ・教育委員会で議決 ・議会へ報告、評価結果の公表 |

※ 評価委員：教育に関し学識経験を有する者

(地教行法第27条第2項)

| 氏名 | 役職等 | 本村とのかかわり |
|--------|--------------|-----------|
| 瀬戸口 弘信 | 前県PTA連合会事務局長 | 元三島村教育長 |
| 吉中 孝 | 鹿児島高等学校 教諭 | 元三島小中学校校長 |

II 事務の点検・評価の内容及び結果について

1 点検・評価の対象とする施策及び事業について

学校教育において、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成は学校教育行政の推進上重要な課題であること、また地域一体型の本村ならではの学校存立を考えると、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりは必須であること、さらには村民の心が一つになる機会や各地区にある文化財の保存・活用は本村の振興にとっても重要であることを踏まえ、次の6施策・11事業を点検・評価の対象とした。

1 学校教育の充実

◎ 学力向上に向けた教育の充実

【事業1】 小学校合同修学旅行補助事業〈43万9千円〉

中学校合同修学旅行補助事業〈100万5千円〉

平素と異なる生活環境を経験することによって、見聞を広め自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことが出来るような活動を行う。

【施策1】 テレビ会議システムの利活用促進

県総合教育センターの「テレビ会議システム@ceネット（つらネット）」を活用し、地区研究協力校として公開授業を実施、村の学校間の情報共有を促進するとともに、校内研修の活性化を図り、村内各小中学校間の授業研究など教職員の授業力・指導力向上に資する。

◎ 「心の教育の充実」

【事業2】 学校図書館整備推進事業〈87万円〉

平成24年6月4日付け県教委からの「学校図書館関係の地方財政措置について（通知）」に基づき、次の3項目について整備しようとするものである。

- (1) 学校図書館への新聞配備
- (2) 学校図書館担当職員（学校司書）の派遣
- (3) 学校図書館図書標準の達成

【事業3】 人権教育推進事業〈2万5千円〉

「三島村いじめ根絶標語コンクール」を実施することにより、児童生徒の人権意識を高め、一層のいじめの未然防止、根絶を図る。また、入賞作品を村広報紙や各種プログラムに今回も記載することで、継続して村民の人権意識の啓発に努める。

◎ 地域に根ざした特色ある学校の実現

【事業4】 しおかぜ留学推進事業〈特定離島ふるさとおこし推進事業：1千286万9千円〉

本村内各小・中学校に入学または転入学を希望する児童生徒に対し、各校区内の受入保護者（里親）の協力を得て、受入を実施し、豊かな自然の中で相互の教育効果の向上を図るとともに、学校の活性化と教育の振興充実を図る。

【事業5】 「みしま学校応援団」推進事業

子どもたちの健やかな成長は村民共通の願いである。学校は地域に根ざし地域の人々と一体的に運営されているが、学校の教育活動を支援する大人やその機会を多くすることにより、各地区の教育力及び子どもを守り育てる環境のさらなる充実・向上を期する。地区を越えての学校支援活動も視野に入れる。

【事業6】 「みしまっ子探検隊」実施事業〈118万2千円〉

「むらづくりサミット 子ども大学」構想の一環として、児童生徒に三島村の手つかずの自然の中での屋外活動を通して学びの楽しさに触れさせるとともに、ふるさと三島の将来を担う人材の育成を図る。

2 社会教育の充実

◎青少年健全育成の推進

【事業7】 成人式・祝賀会の実施〈10万7千円〉

村の中学校を卒業した生徒を対象に成人式「新成人を励ます会」、祝賀会「村の新成人、はじめの一步!」を実施し成人を祝う。

3 生涯学習の充実

◎ 学習活動の充実

【事業8】 放課後子ども教室推進事業〈県のかごしま地域推進事業：112万3千円〉

郷土に誇りを持ち心身共にたくましい子どもの育成のために、郷土に学び、育む青少年運動として、各校区に「地域塾」を設置し学習活動・野外活動・交流活動・創作活動を工夫実施するものである。

4 スポーツ活動の充実

◎ 児童の体力向上

【施策2】 「体力アップ! チャレンジかごしま」への参加

仲間と楽しく集団で協力し合いながら運動に取り組むことにより、好ましい人間関係や社会性を育成し、体力向上を図るとともに、積極的に外遊びや運動に取り組む意欲・態度を育む。

◎ スポーツ活動の振興

【事業9】 バドミントン教室の実施〈17万1千円〉

様々な競技の専門家から指導を受ける場を提供することで、村民の健康と明るい生き生きとした人づくり、地域づくりに資する。

5 文化財の保護・活用

◎ 文化財等保護基盤の整備・充実

【施策3】 文化財の保護・管理〈116万3千円〉

村民の宝である各地区の文化財保護管理、天然記念物の保護管理を適切に実施する。

6 その他

◎ 三島の教育の充実

【事業10】 教育現場体験の実施〈6万円〉

大学との提携により三つの島を学外キャンパスとして位置づけ研修の場として活用することで児童・生徒・学校職員との交流を深めるとともに、三島村教育活動活性化のための方策の提言を期待する。また離島赴任が必須の本県教員を目指す学生に離島教育の重要性を理解させるとともに、三島村をはじめとする離島赴任の不安を取り除く。

【事業11】 鹿児島大学大学院教育学研究科との連携〈村負担無し〉

三島村教育委員会と鹿児島大学大学院教育学研究科との連携・協力に関する協議書を締結。

【施策4】 大里しおかぜハウスの建設〈1千393万2千円〉

高齢化する地域にあって、しおかぜ留学生の安定的な受け入れに資するための施設を整備することで、学校の維持・存続と児童生徒の健全な育成を図る。

◎ 学校環境の充実

【施策5】 大里小学校体育館の建設〈1億9千116万円〉

天候に左右されず、いつでもスポーツに親しむことが可能な体育館を整備することで、学校教育と生涯スポーツの充実をさらに推し進める。

【施策6】 三島村立小中学校教育環境施設整備〈1千242万円〉

各学校に必要な遊具・屋外競技施設を整備することで、心身の発育にとって貴重な時期にある子どもの健全な成長に資する。

2 評価指標の設定

前記6施策・11事業に共通する評価指標として、次のア～オの5点を設定した。

- ア 計画（企画・立案）に無理はなかったか（ないか）。
- イ 所期のねらいは達成することができたか（されつつあるか）。
- ウ 円滑（協力等）に実施することができたか（されつつあるか）。
- エ 学校・関係団体・住民等に受け入れられたか（ているか）。
- オ 次年度以降、継続実施する必要があるか。

3 評価基準

前記の評価指標ごとに次の基準で評点を付与することとした。

- 「4」＝そう思う。
- 「3」＝どちらかというと思う。
- 「2」＝どちらかというと思わない。
- 「1」＝そう思わない。

4 施策・事業別点検・評価結果

| | 施策・事業等名 | 事業等別・指標別の評点平均値 (4点中) | | | | | 事業等別総評 点平均値 (20点中) | 備考 |
|------|---------------------------|----------------------|------------------------|-----------------|------------------------|-----------------|--------------------------|----|
| | | ア 計画の 妥当性 | イ ねらい の達成 度合い | ウ 実施の 円滑性 | エ 事業等 の受入 度合い | オ 継続の 必要性 | | |
| 事業1 | 小学校、中学校合同 修学旅行補助事業 | 3.8 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 19.5 | |
| 施策1 | テレビ会議システムの 利活用促進 | 3.6 | 3.5 | 3.4 | 3.5 | 3.9 | 17.9 | |
| 事業2 | 学校図書館 整備推進事業 | 3.6 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | 3.9 | 18.1 | |
| 事業3 | 人権教育推進事業 | 3.7 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.9 | 18.5 | |
| 事業4 | しおかぜ留学推進事業 | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 3.7 | 4.0 | 18.9 | |
| 事業5 | 「みしま学校応援団」 推進事業 | 3.3 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 3.8 | 16.8 | |
| 事業6 | 「みしまっ子探検隊」 実施事業 | 3.7 | 3.8 | 3.6 | 3.5 | 3.8 | 18.5 | |
| 事業7 | 成人式・祝賀会の実施 | 3.9 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 4.0 | 19.6 | |
| 事業8 | 放課後子ども教室 推進事業 | 3.5 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.9 | 18.1 | |
| 施策2 | 「体力アップ!チャレンジ かごしま」への参加 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.5 | 3.8 | 18.0 | |
| 事業9 | バドミントン教室の 実施 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.6 | 3.7 | 18.0 | |
| 施策3 | 文化財の保護・管理 | 3.5 | 3.4 | 3.4 | 3.4 | 3.9 | 17.7 | |
| 事業10 | 教育現場体験の実施 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 19.2 | |
| 事業11 | 鹿児島大学大学院教育 学研究科との連携 | 3.6 | 3.6 | 3.6 | 3.5 | 3.8 | 18.1 | |
| 施策4 | 大里しおかぜハウスの 建設 | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 3.5 | 3.5 | 18.2 | |
| 施策5 | 大里小学校 体育館の建設 | 3.4 | 3.6 | 3.4 | 3.6 | 3.4 | 17.4 | |
| 施策6 | 三島村立小中学校 教育環境施設整備 | 3.8 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | 3.9 | 18.8 | |

5 特記事項（本年度の反省や次年度へ向けた課題など、自由記述されたもの）

(1) 学校教育に関すること

- ア 「チーム三島」先生方の一丸となつてのご指導に感謝の一年だった。しかし、教育者としての資質を疑われる様な言動があつたのも事実。このような事例があつたことを、管理職の先生方も校内の問題だけで無く、「チーム三島」全体の問題として、提示していただくと、当事者だけでなく全ての先生方も今一度気が引き締まるのではないかと考える。
- イ 「みしま学校応援団」では、もっと学校から地域に積極的に声かけをしてほしい。
- ウ 「みしま学校応援団」推進事業の取り組みを各地区にPR（周知）して、広く地域住民に周知していけば、もっといろいろな活動支援を受けられるのではないかと。
- エ みしま学校応援団は、学校独自に人材リストを作成した。地域の方々との連絡をしながら、学校教育への協力をいただいた。三島村としての人材リストの作成を明確にしたい。
- オ 学校応援団については地域の方々に協力していただいているが、地域では限度がある。島外からの派遣が可能な人材や支援内容の充実を図る手立てを構築して欲しい。
- カ 「みしまっ子探検隊」事業については、今後とも実行していくべきで、将来は三島村の子供たちと他の地域の子供たちと一緒に参加出来ていったら、事業として幅が広がっていくと思う。
- キ みしまっ子探検隊はたくさんの素晴らしい体験ができる機会である。ただ、新学期直前であり、子供たちの体力面で心配な部分がある。二学期のスタートを元気迎えるために、日程の面で少し軽減できるとよいのではと感じる。
- ク 今後とも教育の充実の為に、頑張ってもらいたい。
- ケ しおかぜ留学推進事業は、村にとって大切な事業。委員会としても実親と里親との連携の充実にもっと手助けできればと思う。
- コ 平成29年度に「大里しおかぜハウス」を開設し、里親を県外より定住で受け入れ、平成30年度は4人の受け入れを計画している。各島にもしおかぜハウスを建設し一人でも多くの留学生の確保に努めたい。
- サ テレビ会議システムは子どもの授業だけではなく、家庭教育学級やPTA活動等でも進めてほしい。
- シ TV会議を使った4校間の各種行事の打ち合わせ、合同授業、授業公開など、活用する機会が非常に増えた。接続が安定するためのシステムの点検・強化を望む。
- ス TV会議システムを利用し、合同授業を行うなど利用の頻度が増え、積極的に活用していた。システムがもう少しスムーズであるとよいと感じる。周囲の雑音が入り、聞き取りにくいいため、それらが改善されるよう、周辺機器の整備も必要であると感じる。
- セ 子ども劇団の派遣など、演劇・文化活動に親しむ機会を広げたいが、予算がなく、学校単独で開催できない。村が主催し、このような事業を各地区で計画的に実施することはできないだろうか。
- ソ 修学旅行については、予算面でも十分な配慮をいただき、とても充実した修学旅行になった。子供たちは四校の交流ができたことを喜び、全ての行程を楽しみながら体験し、学習することができた。内容が盛りだくさんになり、もう少し余裕をもった日程にできればよかった。

タ 教職大学院との連携の機会をいただき、得るところが大きかった。初年度であることから先が見えず、手探りで進めていく過程では苦労もあったが、子供たちにとっても、職員にとっても成長する機会をいただけた。また、TV会議システムを使った講話で、保護者や地域に学びの機会を提供することができた。

チ 1 成果

- (1) 修学旅行の成果を、文化祭で報告できた。
- (2) 学校図書館の蔵書が充実していた。
- (3) 留学生制度が機能していた。
- (4) みしまっ子探検隊は素晴らしい企画と運営だった。
- (5) ジャンベ教室など、放課後子ども教室が充実していた。

2 課題ならびに改善策

- (1) 職場体験学習の支援体制・補助の充実
- (2) 三島独自のテレビ会議システムの設置&活用促進
- (3) 離島型農業高校（牧場経営）もしくは通信制高校（パソコン）の誘致
- (4) 東京オリンピックや鹿児島国体に対応した離島型競技人口の拡大
 - ・ ヨット、ボルダリング、スケボーなど

(2) 学校の施設・設備に関すること

- ア せっかく新設していただいたテニスコート。あまり活用しているように見えない。もっと子供たち以外にも広く開放して認知度を上げていただきたい。
- イ 竹島校では、テニスコートも整備され、水はけも以前より良くなった。ただむき出しのままの立てコンクリートがあるので整備をお願いしたい。
- ウ 校舎裏敷地の排水が悪く、雨の多い時期は田んぼ状態になる。ぶとや蚊の発生原因になると考えられるため、整備をお願いしたい。(大里小中)
- エ 防護フェンスとして、校庭の周囲の必要な箇所にネットを張ってもらっているが、一部破損しており、整備をお願いしたい。(大里小中)
- オ 学校内の通路で一部コンクリートが陥没しており、補修工事をお願いしたい(大里小中)
- カ グラウンドの水はけが悪く、水たまりができてやすい。幅3m程度のグラウンドを周回できる走路を作ってもらうこと(アンカー工事)をお願いできないか。(大里小中)
- キ トイレを洋式にしてほしい。(高齢者が利用しにくい)
- ク 平成30年度順次トイレを洋式に改修する予定。
- ケ 砂場の整理と猫対策をお願いしたい。
- コ 学校集会室の倉庫を活用できるように整備してほしい。
- サ 給食室までの屋根が欲しい。雨の日は濡れてしまう。(大里小中)
- シ 空調施設、照明施設の故障、修理の必要などがあるので、早急に対応していただきたい。
- ス 様々な施設・設備が老朽化、劣化していくなか、対応していただきありがたかった。
- セ どの学校の施設や設備も老朽化が進んでいるので、委員会として子供たちが常によりよい教育環境にあるようサポートし続けて行く必要があると思った。
- ソ 待望の遊具が設置され、子供たちがたいへん喜んだ。外遊びが増えることで、体力の

- 向上はもちろんだが、遊びを通して心の成長にもつながる。たいへん有りがたかった。
- タ 遊具施設の新設をしていただき、大変ありがたかった。(大里小中)
- チ 現在使用している公務用パソコンは 2011 年に導入したもののようであり、パソコンの切り替え時期に来ているのではないか。1つ1つのデータの容量が大きくなっており、パソコンが応答なしで数分フリーズする頻度が多くなっている。ハードディスク等のクラッシュも懸念される。(大里小中)
- ツ 新しいコピー機に替えていただき、大変ありがたかった(大里小中)
- テ 教職員住宅の補修・改築を進めてほしい(状況によっては村営住宅への入居)。より良い環境が先生方の指導にも影響されると思う。
- ト 平成 30 年度、竹島教職員住宅外壁補修を 3 棟計画。年次的に各島の老朽化した教職員住宅の改修に努める。
- ナ 教職員住宅は住宅の状態に対して、住宅費が高いと感じている。教職員住宅の改善をお願いしたい。風呂や台所などの水回りは衛生面できれいにしておかなければならない箇所である。洗濯機の置き場に不自由している所もある。また、浴槽に浸かっている職員もいる。

ニ 1 成果

- (1) 給食室のスポットクーラーや保健室のエアコン等の補修
- (2) 校内放送設備
- 2 課題ならびに改善策
- (1) 自然災害に強い学校
- ア 風速 50M級の台風でもびくともしない校舎・温室
- イ 被災時もライフラインが確保できて、通常の学校生活・給食が可能な学校(校内に自家発電、海水から真水プラント、1週間分の非常食備蓄など)
- ウ 南海トラフや硫黄島噴火を想定しての避難訓練や防災体制の確立
- (2) 日本一の学習環境を誇る学校づくり
- ア 全教室冷暖房完備
- イ 校内に児童生徒の休憩コーナー(セルフサーバーの設置)
- ウ 児童生徒一人一台のノートパソコン(タブレット端末)などICTの充実
- エ ネットによる大学や塾等と連携した通信教育の充実
- (3) 障害者も共生できるバリアフリー構造の校舎、特別支援員の配置
- (4) 日本一遊べる学校づくり
- ア ツリーハウスや秘密基地、ピザ釜やバーベキュー施設の設置
- イ カヌーやウエイクボードなどの施設や道具、教室の実施、指導員の配置
- ウ 山羊と牛の飼育小屋の設置

(3) 生涯学習に関すること

- ア 小さな島だからこそ、身近にある文化財に親しむ事ができる。いつ頃、なぜこの場所に、どうして出来たのかをより詳しく学習出来るような環境を整えてほしい。
- イ 徳田先生のジャンベ活動を子供たちはとても楽しみにしている。黒島では一泊だと練習時間が短いので、もう少したくさん時間を取れないものだろうか。
- ウ 郷土芸能など伝統文化の継承については、各学校が文化祭や運動会の種目に取り入れ、

- 地区民も子供たちと一緒に踊って参加している。大変良いと感じている。
- エ 文化財等の整備（看板）が不十分なところがある。
 - オ 地域に向けた人権教育の推進が必要である。
 - カ 地域向けのジオパーク推進の取組を計画的にすすめて欲しい。
 - キ 郷土を知り、郷土で学ぶ学習会、施設等があるとよい。
 - ク 大里健康広場にあった倉庫がなくなり、リサイクル空き缶の保存場所や地区で利用できる保管倉庫がない。体育館建築時に小さな倉庫が建てられたが、スペースが狭く、実用性のある大きな倉庫を新設していただきたい。
 - ケ 放課後子ども教室は、学校職員のボランティアで活動を維持している状況である。学校職員の業務改善として、時間外勤務の削減の提言がなされており、地域指導者の確保など、その対策を考えることが必要ではないか。また、活動の充実を図るために、派遣講師活用の体制があればありがたい。
 - コ 「放課後子ども教室推進事業」は、村にとっても大変すばらしい事業だと感じた。今後とも積極的に取り組んでいただきたい。もう少し地域住民に周知を図れば、もっと協力が得られるように思う。
 - サ 社会体育施設として黒島に大里小体育館ができたが、住民が利用しやすい平日の夜間開放、土日の開放ができるように工夫することが必要ではないだろうか。その他、体育館に卓球台や体育館の外に滑り台などの遊具施設があればいいと思う。
 - シ 成人式の様子を地域に居ながら見られることは、地域の人々にとってたいへん喜ばしいことだと感じる。
 - ス 1 子どもたちや学校・地域のためのPTAから、生涯学習の場としてのPTA
 - (1) 全Pや九P、県P（地区P）との「縦の連携」を図る
 - (2) 村P連絡協議会や三島・十島PTA連絡協議会の「横の連携」を図る
 - (3) 携帯安全教室やAED講習会の実施
 - ※ 4校合同で、携帯安全教室やAED講習会を開催する。
 - 2 よそ者と若者と一緒に継承する伝統文化、テレビ局と連携したジオパーク
 - (1) よそ者や若者と一緒に継承する伝統文化
 - ア ネットで募集し、1週間程度、島で生活しながら、踊りを練習し、祭りで披露する。
 - イ 留学生を含む子どもたちによる「伝統文化祭」を実施する。
 - (2) テレビ局とタイアップしたジオパーク推進事業
 - ア 「ダッシュ島」として企画し、テレビ局と連携できるようにする。
 - イ ドローン撮影大会など目玉になるイベントを開催する。
 - ウ ウォーターボールなど他にはない目玉になる観光やレジャー施設を造る。

(4) その他

- ア 三島村の子供たちがお互いに横のつながりや他校とのつながりができる事業ができたらいいのと思う。
- イ 職場体験などでは、三島村（行政）の仕事について、自分の村の役場の職員の仕事を知っていただき、将来三島村で働きたいと思える子どもも育てていけたらいいなと思った。

- ウ 「みしまっこ探検隊」の3島4地区揃っての参加に向けて取り組んでいただきたい。
- エ 印象的だったのは、「みしまっ子探検隊」の実施。自分たちの住んでいる三島村の大自然に触れ、他の島の異年齢の児童・生徒と協力しながら学び親しみ、3泊4日という短い期間で大きく成長した姿は感動だった。数少ない交流の中でも、特に「みしまっ子探検隊」はとても有意義なものだと思う。準備等が大変だとは思いますが、ぜひ、このような学びの場が増え、みしまっ子がたくましく成長できるように願う。
- オ ジオパーク学習の取組を、各校間で相互に発表したり情報交換したりする場があるとよい。
- カ 子どもたちが様々な芸術鑑賞に触れる機会があるとよい。
- キ 大里の留学生ハウスが4月からスタートする体制が作れたことは大きな前進である。先々は里親制度からハウス制度への移行が各地区必要になるのではないか。
- ク しおかげ留学については、誰もが里親となれるわけではなく、様々な家庭環境や事情を抱えた子どもを理解しながら支えていくためには、里親としての研修やそれなりの経験が必要であり、学習・研修の機会が欲しい。
- ケ 留学生の受け入れ決定は、留学に対する本人・保護者のしっかりした目的がなければうまくいかないと思う。段階的な流れ（希望→当初面接→現地見学→決定面接→決定→学校への転入）を踏んで慎重に進めていくようお願いしたい。
- コ 細かなことはわからないが、小規模校ながら複式学級の特徴を生かした事業が行われており、全体的に優れていると思う。予算が限られており予算配分に苦勞することも多いと思うが、引き続き頑張ってください。
- サ 一年を通して、委員としてもっと積極的に活動（事業）等に参加・取り組んでいければと思った。
- シ 三島を「沸騰島」にするための魅力ある学校づくり（「GTOプラン2018」）
- 【P1】 宿題やテストのない学校
- ・ 放課後は、学校で、有名塾のネット講義受講や大学生による集中講座
- 【P2】 日本一遊べる学校
- ・ 海や山で遊ぶ（カヌーやウエイクボード、シュノーケル、トレイルランや昆虫採集など）
 - ・ 離島セラピー、アニマルセラピー、豊かな自然による癒やし体験
- 【P3】 将来国体やオリンピック出場の可能性を育てる学校
- ・ ボルダリングや登山、ウエイクボード、トライアスロンなどの施設や強化指導完備
- 【P4】 日本一給食の美味しい学校
- ・ 少人数だからできる月1回のフルコース給食やバイキング給食など
- 【P5】 グローバルスクール（修学旅行は毎年、旅行先は外国）
- 【P6】 ノーマライゼーションスクール（障害者との共生を目指す学校、人権教育の充実）
- 【P7】 銀の匙学校（山羊や牛を飼育している学校、島に設置する農業高校との連携）
- 【P8】 文化祭で柏木由紀（AKB）やC&Kのミニコンサートがある学校
- 【P9】 日本全国のジオパークと連携したジオキッズクラブのある学校
- 【P10】 放課後や週休日には総合型スポーツクラブで好きなスポーツのできる学校 ……